

新潟港信濃川左岸護岸（生物共生型護岸）

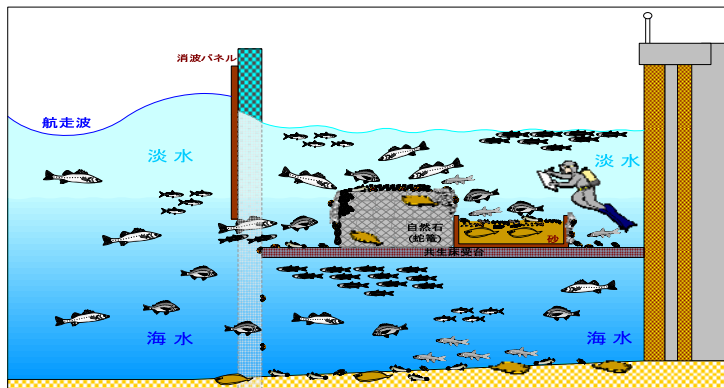
○事業の概要

新潟港(西港地区)信濃川左岸護岸は、昭和39年の新潟地震で被災し、その後、昭和40年に矢板式護岸として復旧され現在に至っています。建設後、すでに44年を経過しており、老朽化も進んでいますので当該護岸の改良・更新を行うこととなり、生物共生型護岸を実施しました。

○生物共生型護岸の構造の特徴－共生空間、消波パネルの設置

- 水生生物が生息・生育できる共生空間の設置
- フェリー等の航行によって発生する航走波からの共生空間の防護

○目標とする海域環境(イメージ)



護岸完成写真(全景)

